

正誤表

p.18 3行目 $R(-\beta)$ を $R(\beta)$ に訂正

p.25 12行目 「その問題と関数」を「その問題とは、関数」に訂正

p.27 下から3行目と2行目

$$\log \left\{ 2 \cos \left(\frac{x}{2} \right) + i \frac{x}{2} \right\} \text{ を } \log \left\{ 2 \cos \left(\frac{x}{2} \right) \right\} + i \frac{x}{2} \text{ に訂正}$$

p.110 下から3行目 「 y が消去できて」を「 ψ が消去できて」に訂正

p.114 12~13行目 $\frac{icn\pi}{l}$ を削除 (合計2ヶ所)

p.126 6行目 右辺の分母 $i(k-n)\omega_0 t$ を $i(k-n)\omega_0$ に訂正 (t を削除)

p.128 下から2行目 $e^{-n\omega_0 t}$ を $e^{-in\omega_0 t}$ に訂正

p.146 11行目 2つ目の 記号の下「 $n = -\infty$ 」を「 $n = 1$ 」に訂正

p.160 5行目 l' を l に訂正 (2ヶ所)

p.353 下から4行目 $8 \left(\sum_{k=1}^{\infty} \frac{1}{k^2} - \frac{1}{(2k)^2} \right)$ を $8 \sum_{k=1}^{\infty} \left(\frac{1}{k^2} - \frac{1}{(2k)^2} \right)$ に訂正

その他の訂正

第3章「 π^2 が無理数であること」の中に、超越数論の歴史に関し、原著に誤った記述がありました。それは、Gelfond-Schneider の定理と言われている定理の第一発見者がジーゲルであるとの記述です。これは明らかな誤りであり、正しくは、定理の名が示すとおり、Gelfond と Schneider が独立に発見しました。著者にこの点を問い合わせましたところ、著者はこの誤りを認めました。ただし、ジーゲルも彼らと独立にこれを発見していたことは事実 (しかしその時期は Gelfond, Schneider よりも1,2年ほど遅かった) とのことです。 [この誤りは、慶應義塾大学の塩川宇賢先生にご指摘頂きました。]